

Folklore

フォークロア

- い い つ た え -

岡内大三 監督 作品一覧[展示構成/映像監督:岡内大三 音響デザイン:北村大樹]

No.	タイトル	上映時間	制作年	制作メンバー
1	㊦ 「ある日の榊川ダム」 『Water Commune city』より 「知覚民話 - 土宙 -」 「水の祝祭」	9'48" 16'26" 8'15"	2025 2022	撮影:井上真輔、宮脇慎太郎、田中美句登 演出・振り付け:カタチサト 踊り:カタチサト、林杏樹、Su,山崎モエ、Su,あゆみん、木村アンリ、長谷川隆子、黒子樵、ウエポン、 日浦魁、雨種、のの 音楽:南口えり(バイオリン)、熊本年孝(ギター)、IPPEN(シンセサイザー) 録音ミックス:OOWETS VJ:ツジタナオト 装飾:密林東京 サポート:細川康秀 監督/編集:岡内大三 協力:一般社団法人トピカ
2	㊦ 『Water Commune city』より 「湯水の記憶」	13'26"	2022	語り:山田勉則、川崎正視 歌手:MILLY
3	㊦ 『Water Commune city』より 「プロローグ」 「ひょうげ祭り」 「水車家族」 「ヤマウミ」	2'44" 12'11" 18'52" 3'39"	2022	踊り:吉田亜紀 ひょうげ祭り実行委員会の皆様 高原水車友の会の皆様 メディアアート:岩澤秀樹(ヤマウミ)
4	水底共同体	—	2025	
5	㊦ 沈んだ記憶	—	2025	



「アート・シティ高松」文化芸術創出事業委託制作作品
 として制作された映像を、本展のために再編集し、上
 映しております。編集前の映像は、高松市公式
 YouTube『たかまつムービーチャンネル』でも公
 開中です。



ご挨拶

Water Commune City は水不足に悩まされた香川県の、水を分け合うための慣習や、信仰や民話をリサーチして制作しました。きっかけは、2021年の春に、貯水前の椋川ダムを訪れたことでした。椋川ダムは塩江町の椋川地区に、2021年に完成したダム。それから3年半の時間をかけ貯水をし、運用を開始するというので、その集落を見られる最後の機会だと思ったのです。高さ80mの壁を境に、そこにあったはずの集落の住居がすべてはぎとられ、乾いた土がむき出しになっていました。壁の向こう側の集落は、田んぼに張られた水が朝焼けに輝き、山桜が咲いていて、その対比は胸に迫るものがありました。あの集落は都市部で暮らす私たちの生活のために水に沈む。「今さらダムをつくる必要があるのだからか？」という疑問とともに、私たちが使う水の背後にある歴史を知りたいという欲求がわきあがってきたのでした。

本作品では、特に、共同体の媒介者としての水の力に着目しています。古代、人は水源に沿って共同体を築き、雨を乞うための神や水の民話や民謡を生み出しました。水の共有意識や神聖性を創造の源泉とした「共同幻想」は、共通感覚という地域の紐帯を形成したのかもしれませんが。一方で、ため池築造祈願の人身御供の民話や、水をめぐる争いといった、個人や共同体を守るための排除の歴史も各地の伝承に残されています。やがて利水と治水の技術の発展により、共同体の規模は拡大し、水は享受して当然のものになり、かつての神聖性は薄れました。それは現代の共同体意識の薄れや、それに伴う孤立社会化と、関連しているようにも思えます。

展示のために制作した「水底共同体」という作品では、椋川ダム築造の際に立ち退きにあった当事者に話を聞き、郷土史を読み、その土地を歩くことで、「離散した人たちの感情」に分け入ることに挑戦した際の心の動きを表現しています。ダムに沈む集落を目に焼き付けたあの日、そこで暮らした人たちの感情に寄り添うような振る舞いをした私は、心からそうできていたのかと思えば、それは儀礼的な共感だったように思えます。少なくとも、水を得る都市生活の一員であることは自覚できていませんでした。多様なライフスタイルを送る私たちの間に、共同幻想は限りなく薄く、時折壁が現れます。それを乗り越えるのは簡単なことではありませんが、水の媒介性をあらゆる角度から観察することが、その一助になるような気がしています。

岡内大三

PROFILE

岡内大三

ライター / 編集者 / 映像作家。1982年生まれ。

単著に「香川にモスクができるまで」(晶文社)。インドネシア人移民が信仰を媒介に共同体を構築していく姿を描きました。HEAPSMAG、KOTOBA(集英社)などに寄稿しています。ストーリーテリングの手法の多様化を目指し、文章では表現ができない事象や感情を映像作品にしています。高松市アート・シティ事業で「Water Commune City」を制作。IDFF(国際ダンス映画祭)にて、現代人の祈りの感覚をテーマに制作した「知覚民話 / Inorino」が上映作品に選出(出演:カタチサト)。「演奏で振り返る豊島産廃事件」をDOMMUNE SETOUCHIで公演しました。